

コンテナターミナルおよびコンテナ船見学会を神戸で開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

同プロジェクトの一環として、日本郵船株式会社および一般社団法人日本船長協会のご協力のもと、8月6日（土）に神戸市六甲アイランドに於いて、日本郵船 神戸コンテナターミナル&コンテナ船の見学会を開催し、抽選により当選した17名が参加しました。

生憎、台風の影響によるコンテナ船の運航スケジュール上の都合により、本船へ乗船することはできませんでしたが、堤船長（日本郵船）の案内により敷地が甲子園球場7個分ある等、コンテナターミナル概要の説明を受けるとともに、コンテナ船「SUZURAN」の迫力ある荷役作業の様子を岸壁から見学することができました。



また、大類船長（日本船長協会）からは自動車船による世界一周『船長航海記』の説明があり、参加者からは「何か国語話することができるのか（7カ国語）」「乗船中に困ったことは（船長室の金庫が開かなくなり、外国人船員への給与支給や食糧購入が危うくなりかけたこと、乗組員が顔面に裂傷を負ったこと等）」など多くの質問がありました。

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



コンテナ積付の仕組みを説明する堤船長（左）および世界一周の体験談を語る大類船長（右）